



Vogue (France) 1. Oct. 1925

■プログラム

- 14:00 研究会趣旨
14:05 大野斉子「シャネル No.5 のルーツとしてのロシア
—調香師エルネスト・ポーと亡命者たち」
14:50 筒井直子「シャネル作品のなかのエトランジェ
—Kitmir 工房との関連をめぐって」
15:20 休憩（10分）
15:30 朝倉三枝「リトル・ブラック・ドレスの源泉を求めて
—シャネルと異国趣味」
16:00 質疑応答
16:30 終了

ファッション文化研究会 第3回研究例会

「ファッションと異国—シャネルを紐解く」

日時：2018年10月6日（土）

14:00～16:30

会場：日本女子大学 百年館 低層棟 207 室

参加無料

【発表者略歴】

【大野斉子（おおのときこ）】

東京大学大学院人文社会系研究科博士課程修了。博士（文学）。現在、宇都宮大学国際学部准教授。専攻は、帝政時代を中心としたロシア文学・文化研究、メディア論、比較文化論。主著に『シャネル No.5 の謎—帝政ロシアの調香師』（群像社、2015年）。

【筒井直子（つひなおこ）】

神戸女子大学大学院博士前期課程修了。現在、京都服飾文化研究財団（KCI）キュレーター。KCIでは司書、教育普及を兼務するとともに広報誌『服をめぐる』の編集、文献資料の研究・収集・保存を担当。モスクワ・クレムリン美術館での「Elegance and Splendour of Art Deco」展など、国内外におけるファッション展の企画に携わる。

【朝倉三枝（あさくらみえ）】

お茶の水女子大学大学院人間文化研究科博士後期課程修了。博士（人文科学）。現在、フェリス学院大学国際交流学部准教授。専攻は、19世紀末から20世紀初頭のフランスを中心とするファッション史。主著に『ソニア・ドローネー—服飾芸術の誕生』（ブリュッケ、2010年）。